

# 後援会だより

## 秋の味覚市& café 10月11日(金) 11時~13時 今年も大盛況でした!



10/11 あまーちにて毎年恒例の「秋の味覚市」が開催されました。参加された方に感想を聞きました!

仕分け時に話したことの無いお母さんと話せたのが良かったです。ミニトマトが美味しかったです。

Wさん



今年も秋の味覚市(10/11)のお手伝いに行かせて頂きました。今回は久しぶりに栗を買いました。剥くのに凄く時間がかかりましたが大変だったぶんとっても美味しい栗ご飯が出来ました。

来年も楽しみです♪

Kさん



いいお天気に恵まれた秋の味覚市に家族会からのお手伝い、そして秋の味覚市を楽しみにしている1人として向かわせていただきました。丹波篠山の味覚を届けに来てくださる農家さんから簡単レシピや保存の工夫などを直接、聞く機会がもてたこともとても嬉しかったです。秋の味覚市をとおして、いろいろなつながりや秋を感じさせていただきました。

Wさん

あまーち後援会は社会福祉法人あまーちの運営・事業を支えるために活動しています。会員になって私たちの活動を支えてください。

- ・年1回後援会総会を開催します。会員は総会に参加できます。
- ・各種イベントに参加できます。
- ・会報誌「うおっちゃんぐ」を年4回お届けします。
- ・会費は後援会の運営費として活用させていただきます。

### 後援会活動

- ・チャリティコンサート・バザー・物品販売・広報委員会・その他活動

\*個人会員 年額 1口 2,000円 \*賛助団体 年額 1口 10,000円

### 募金にご協力をお願いします

どのような障害のある人もいきいきと活動できる医療的ケアを保障した通所施設の資金づくりに今後ともご協力をお願いします。



### <会費振込先>

口座番号: 00950-6-130292

### <加入者名>

「あまーち後援会」

### <お問い合わせ>

あまーち 橋本

☎ 06-6438-6002

社会福祉法人・NPO法人の会計・税務・監査

## 多田公認会計士事務所

TEL: 0798-67-8762

西宮市大畑町2-29 サーティ北口103

阪急西宮北口駅徒歩8分

これって法律問題?分からなくても大丈夫です。一人で悩まず、気軽にまずはご相談を。

☎530-0047 大阪府大阪市北区西天満3-4-4

イワイビル 5階

☎(06) 6363-1040

mail:sul@lawyers.jp

弁護士 薛 史愛

※地下鉄谷町線南森町駅

JR東西線大阪天満宮駅徒歩10分



# Ksks あまーち うおっちゃんぐ 104号



HP

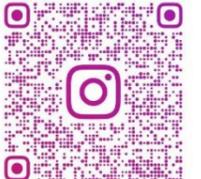


LINE



@ama\_chi

Tik Tok



SHAKAIFUKUSHIHOJIN.AMACHI

Instagram



なかま企画 ~ハロウィンパーティー~



☐ハロウィーン 1P

☐情勢 2P

☐いこいこ水堂まつり 3P

☐後援会ページ 4P



編集人 社会福祉法人あまーち  
あまーち後援会

〒661-0026

尼崎市水堂町3-13-3

TEL: 06-6438-6002

FAX: 06-6438-6008

HP: <http://www.ama-chi.jp/>

二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行 定価五十円 発行人関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二丁目二東興ビル四階

二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行 定価五十円 発行人関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二丁目二東興ビル四階

# 戦没画学生慰霊美術館「無言館」に行ってきました



11月はじめに長野県上田市にある戦没画学生慰霊美術館「無言館」に行ってきました。夏に行く予定にしていたのですが、台風で断念してのリベンジ旅行となりました。

「無言館」は、自然豊かな雑木林の坂を登ったところに建つ小さな美術館です。戦争で命を絶たれた画学生の作品と、生前を伝える遺品や手紙が展示されています。一つ一つの作品を見る中で、亡くなったのは、終戦間際の1944年から45年に集中しています。年齢は20~30歳ぐらいの若者です。作品のモデルは家族や愛する妻や恋人が多い印象でした。

亡き父も20歳で学徒出陣し、大学に進学したもののほとんど学ぶことなく戦地に行き無事に帰ってきましたが、生前に戦争の悲惨な話をすることはありませんでした。私が子どもの頃に父から友人の話聞いたことが無かったため「お父さんに友達はいないの?」と何気なく聞くと、父は「友達みんな戦争で死んでしまったからいない。」と答え、私は聞いてはいけないことを聞いてしまったという印象を持ったことを思い出しました。生き残った人たちも心に大きな傷を残すのが戦争なんだと思います。

亡くなった若者たちの絵画や作品を見て、人となりや家族の思いを読むにつれ、「戦争がもう少し早く終わっていたら、そして戦争がなければ、この若者たちが、その後の人生でどんなに素晴らしい絵をかいていたんだろう。どんな人生を送っていたんだろうか。」と胸が詰まるような思いになりました。そして誰もが自分の好きな事、やりたい事ができる平和な社会にするために、戦没画学生から「今を生きるあなたは、何をしてきましたか。そして何をしますか?」と問われているような気持ちになりました。

今年の10月に日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。受賞理由は、もちろん被爆者やその周りの人達の核廃絶への粘り強い活動ですが、被爆者が高齢化していく中で運動の若者への継承が認められました。その事で世界の核兵器の使用をタブーとする世論を維持する一躍を担ってきたと評価されました。被爆者に代わって若者が語り部をしたり、平和を願う発言をする姿に多くの人たちが勇気づけられています。

無言館もこの美術館をつくった館主の窪島氏と新たに共同館主に40代の内田也哉子氏が就任されました。

あまーちでも、これまで障害のある人と一緒に平和や日本国憲法について学び、自分の思いを語る機会を持ってきました。その中で「平和とは、戦争がない状態だけではない。自分のやりたい事や能力が発揮出来なければ平和でない。」と話した障害のある人がいます。そういう意味で現在は平和ではなくなってきているのかもしれない。

来年は戦後80年になります。戦争を体験した人たちがどんどん亡くなる中で、私たち戦争を知らない世代の人たちが、「二度と戦争を起こしてはならない。」というメッセージをいかに自分の中に取り込み深め、そして次の世代につなげていくのか。その事が今回の私なりの戦没画学生への答えだと気づきました。これからもいろんな場所に行き学び実感し伝えることを続けていきたいと思ひます。

加山 吉恵

# いこいこ水堂まつり

毎年恒例、秋の風物詩「いこいこ水堂まつり」が開催され、たくさんの方が今年も来場されました。



## 0円ショップの件をSDGs委員に聞いてみました



SDGs委員：池田さん・宮崎さん・Aさん（女性）

・0円ショップを開催した経緯を教えてください

池田さん：SDGsを取り組み家庭で要らない物が多く処分されていることを知り、不要になった物が処分されことなく必要とされる人に譲って使ってもらう機会として始めました。

・たくさんの商品を集めるための工夫はされましたか?

Aさん：委員会会議内で0円チラシ作成の担当をしました。去年の反省を活かしながらチラシの内容をアップデートしました。委員会の中でみんなでチェックし、良いチラシを作って知ってもらうことで沢山の商材が集まりました。

・当日の反響はいかがでしたか?

宮崎さん：雨の中でしたが、0円ショップは人気でした。僕は良い感じの帽子を見つけたので帰りました。若い人も多くて、賑やかでした。

・次回の向けて

池田さん：来年も0円ショップしたいと思います！皆さんよろしくお願いします。

Aさん：次の開催に向けてまだ使える不要品があればあまーちに持ってきて欲しいです。来年の10月頃を持ってきてほしいので、それまでご自宅で溜めておいてください。そういった活動が誰かの為に今後もなっていければ嬉しいです。とりあえず、来年は天気が晴れて欲しいですねw

リフォーム、外構、剪定、住まいのことなら

ここちよい快適な  
住まいをめざす



代表者 小西 芳文

〒661-0011 尼崎市東塚口町1-6-1-117

携帯. 090-8207-5116

Tel. 06-6427-4787 FAX. 6427-2039

きょうされんカレンダー販売中!!



きょうされん「はたらく仲間のうた」カレンダーがあまーちにて販売中です！是非お買い求めください！

壁掛け 1350円 卓上 1130円